

令和5年度
(2023年度)

観光にぎわい部の取り組み

<部長の方針・考え方>

2025年大阪・関西万博に向け、歴史・文化・芸術・スポーツ・食といった本市の地域資源を活用した施策をひらかた万博の一環として戦略的に展開し、にぎわいの創出及び地域経済活性化につなげます。

<部の構成>

観光交流課
商工振興課
農業振興課
文化生涯学習課
文化財課
スポーツ振興課

<主な担当事務>

- (1)観光及び都市交流に関すること。
- (2)商工業に関すること。
- (3)農業及び里山に関すること。
- (4)文化および生涯学習に関すること。
- (5)文化財に関すること。
- (6)スポーツに関すること。

重点的な取り組み：戦略的な観光施策の展開



◆市駅周辺で生まれつつある「活性化要素」を活かす

毎月第2日曜に開かれる「枚方宿くらわんか五六市」は約8,000人が訪れるまちなか市として人気定着しています。そうした中、枚方から八軒家浜の間では淀川舟運の定期運航が行われており、さらに国においては、万博会場となる夢洲が位置する大阪湾と淀川上流の航行を可能とするため、淀川大堰に新たな閘門を整備する工事が進行しています。また、令和3年にオープンした総合文化芸術センターでは音楽や演劇、アートで多くの人々が訪れており、令和6年には枚方市駅前に新たなホテルも完成予定です。令和7年に開催される大阪・関西万博に向けて、これらの地域資源を生かしながら、枚方宿界隈や淀川河川敷、枚方市駅周辺のにぎわいを創出し、地域経済の活性化に繋がるよう、持続性のある観光施策に取り組めます。

◆枚方宿を起点に「楽しい」「おいしい」が待っている「淀川の中継港」へ

上記のことを踏まえ、現在の枚方市を形作った歴史を持つ「枚方宿地区」を起点とし、枚方市駅～淀川河川エリア、枚方公園駅までの地域を「面」で捉えることでにぎわいが生まれるよう、観光を「デザインする」視点で取り組みます。令和4年度に策定した枚方市観光ロードマップで掲げた「楽しい」「おいしい」が待っている現代版「淀川の中継港」を目指し、民間事業者や国、府、淀川沿川自治体との連携も深めながら、枚方観光の顔となる淀川舟運のコンテンツ充実や淀川河川エリアを活用したアウトドア・アクティビティのさらなる活性化に取り組めます。また、生み出されたにぎわいが市域全体へ波及するよう、市の花「菊」や「七夕」など枚方ならではのキーワードを生かしながら、市内店舗を含む地域資源を磨き上げ、枚方をまるごと楽しむ観光を「くらわんかツーリズム」として発信していきます。

◆にぎわい創出の拠点整備と観光施策の担い手

枚方宿の中心にあり淀川河川敷にも近い幼児療育園跡地の活用については、にぎわい創出の新たな拠点となるよう、民設民営での整備に向けて取り組めます。また、観光施策の推進にあたっては、観光の礎となる歴史・文化といった地域資源の保存や伝承・活用を担う枚方文化観光協会や、地域の「稼ぐ力」を引き出し、地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の担い手として、令和5年3月に観光庁の認定を受けた候補DMO「一般社団法人くらわんか観光マネジメント」など、本市の観光施策を担う多様な関係団体がそれぞれの強みを生かし、枚方のポテンシャルを最大限に発揮できるよう連携して取り組んでいきます。

重点的な取り組み：創業環境の充実

起業の創出・地域企業支援施設である地域活性化支援センターにおいて、令和6年4月のリニューアルオープンに向けて、テレワークや創業の準備段階から経営支援まで幅広い利用が可能となるコワーキングスペース・シェアオフィスの設置、子育て世代の創業・就労を支援する一時預かり保育サービスの試行実施など、多様な利用ニーズにも応えられる環境整備を図ります。

併せて、施設運営においても、地域活性化支援センターのビジョンとして「多くの方の知見を活用できるコミュニティ型の創業支援施設へ」を掲げ、市内の創業の機運を高め、創業者や事業者のコミュニティ形成に資するとともに、さらなる利用環境の充実に向けた事業を展開します。

また、市内関係機関で構成する「創業支援事業連絡会」や三者連携協定を締結した北大阪商工会議所・枚方信用金庫との連携強化を図り、「手厚いサポートのある関西一創業しやすい街枚方」の実現を目指して取り組めます。

重点的な取り組み：地域経済の活性化に向けた市内事業者への支援

2025年の大阪・関西万博を見据え、市内のものづくり企業の認知度向上と地域経済の活性化を図るため、企業と地域で一体的に実施していく「オープンファクトリー」の開催に向け、ひらかた地域産業クラスター研究会と協力して取り組めます。これにより、地域住民にとって街の魅力を再認識する契機とするとともに、地域に根差す企業としての意識の芽生えややりがいを得る機会とし、地域内外からの集客に繋がります。

また、早期にエネルギー価格の高騰により経済的に大きな影響を受けている市内の小規模事業者の負担軽減を図るための支援に取り組めます。

重点的な取り組み：「地域計画」の策定

これまで「人・農地プラン」において、地域における農業の将来のあり方等を明確化してきましたが、令和5年4月の改正農業経営基盤強化促進法の施行により、「人・農地プラン」は「地域計画」と名称を変え同法に位置付けられました。この地域計画では、新たに「10年後に目指す地域の農地利用（目標地図）」や「農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標」「農用地の集積・集約化の取組」などを明確化する必要があります。

枚方市農業委員会が「10年後に目指すべき農地の効率的・総合的な姿を明確化する目標地図」の素案を作成し、農地の現況・将来についての意向を把握し、集約したうえで地域の状況に応じた話し合い活動を実施し、地域計画の策定に取り組めます。

重点的な取り組み： 東部地域の活性化と里山保全

本市東部地域の良好な地域環境を維持しながら、地域資源を観光資源として位置付け、多くの人が地域を訪れ、その魅力を感じてもらえるよう、摂南大学農学部や地元区、ボランティア団体や事業者等と連携を図り、森林でのセラピーやヨガ、地域資源を生かしたタケノコ掘りなどの収穫体験、里山ウォーキングや栽培体験など、里山と農を生かした「癒しの郷 氷室・津田～美 (be)Health プロジェクト～」に取り組みます。

また、東部地域の豊かな自然環境を守るため、森林ボランティアをはじめとする新たな担い手の発掘に取り組みとともに、里山保全活動団体や企業による環境貢献活動を支援するなど、引き続き、里山保全の取り組みを進めます。



重点的な取り組み： 農業の産業化促進・6次産業化の推進

市内で収穫された野菜などを活用し、摂南大学農学部や農業従事者、企業等と連携を図り、地域特性や消費者ニーズに対応した新たな商品化に向けた検討を行うとともに販路拡大に努めるなど、農業の産業化促進に取り組みます。併せて、新たな担い手となる新規就農者支援事業を継続することで、遊休農地の解消や農業振興を図るとともに、都市農業の強みを生かし、農業ふれあいツアーの充実や直売所等での農産物販売を通じて、新鮮な農産物を市民に供給する機会を提供していきます。また、消費者ニーズに対応した「6次産業化」を推進するために、「6次産業化基本方針」を策定します。



重点的な取り組み： サンプラザ生涯学習課市民センターの③街区への移転

◆生涯学習交流センターの開館に向けた取り組み

サンプラザ3号館5階で運営しているサンプラザ生涯学習市民センターは、市駅周辺再整備に伴い、令和6年度前期を目途に③街区の3工区ビルに移転し、新たに生涯学習交流センターとして開館することから、図書館が併設されることも踏まえ、生涯学習交流センターの運営方法について検討するとともに、備品の調達など移転に向けた取り組みを着実に進めてまいります。

重点的な取り組み： 文化芸術活動の発展とにぎわいの創出

◆総合文化芸術センターから「文化芸術のまち」を発信

令和3年8月に開館した本市の文化芸術の拠点施設である総合文化芸術センターにおいて、国内外の著名なアーティストを招聘した事業や、枚方T-S I T Eや京阪ホールディングスなどと共催事業を実施していくことで、市内外から多くの人々が来館していただける施設となるよう運営していくとともに、来館者が市駅周辺商業施設等に流入できる仕掛けを作り、市駅周辺の活性化に繋げてまいります。

◆子どもや若い世代の文化芸術に触れる機会の充実

本市の子どもや若い世代が優れた文化芸術を鑑賞し体験する機会の充実を図ることを目的に、

教育委員会と連携を図りながら、全市立小学校高学年を対象とした音楽やダンスなどのアウトリーチ事業や連携協定を締結している大阪フィルハーモニー交響楽団による、全市立中学校1年生を対象としたフルオーケストラ鑑賞会を総合文化芸術センターで実施します。

重点的な取り組み：文化財の保存と活用

◆特別史跡百済寺跡の整備と魅力発信

歴史的建造物である築地塀の復元工事を進め、工事の進捗に応じて見学会を開催します。市内大学に協力いただき、新たな技術を取り込んだAR映像などICT技術を活用した魅力発信に取り組めます。

◆文化財の大切さを伝える啓発事業

出土遺物に直接「見て、触れて、感じる」ことができる市民歴史講座の実施や、歴史ウォーク・各種刊行物の発行など普及啓発に取り組めます。地元店舗等と連携した枚方宿まちかど歴史展示や鋳物の歴史を体感できるくらわんか鋳物ツーリズムを市内の鋳物製造企業の協力を得て実施します。

◆埋蔵文化財調査の確実な履行と公開

文化財保護法に基づく発掘調査が、大型開発事業を含め多数見込まれるため、調査を確実に実施し、その成果を市民に公開するほか、調査記録を年報にまとめ、図書館や自治体に配布します。

重点的な取り組み：スポーツ施策の充実

◆スポーツに親しめる機会の充実と生涯スポーツの推進

ひらかた万博の一環として、サインバスケットボールなど障害者スポーツを含めさまざまなスポーツの体験を行うことができるイベント及びラグビーW杯の応援イベントなどを実施します。こうしたイベントの実施やスポーツの環境づくりを進め、あらゆる世代がスポーツに親しめる多様な機会の充実や、健康寿命の延伸を目指す生涯スポーツの推進の観点からも文化・観光・健康福祉の分野とも連携を深めます。

◆地元スポーツチームとの連携

夢と魅力あふれるまちづくりに向け、スポーツのすそ野を広げるため、枚方が本拠地のチーム「パナソニックパンサーズ」「FCティアモ枚方」の知名度アップを図り、地域と交流できる機会を増やします。また、応援のぼり旗の活用を展開するとともに、情報発信の強化などで「みるスポーツ」を促進し、スポーツの実施率向上や賑わいの創出につなげます。

